

発表事項

- 1 令和2事業年度における予算及び決算（見込）の状況
- 2 支払基金改革の進捗状況
審査支払機能の在り方に関する検討会（10月9日開催）
- 3 第23次審査情報提供（医科）
- 4 コンピュータチェックに関する公開（更新及び試行的公開）**
- 5 役員選任の認可
- 6 支払基金定款の一部変更の認可
- 7 懲戒処分
- 8 基金関係功績者に対する厚生労働大臣表彰
- 9 令和2年8月審査分の審査状況
- 10 令和2年10月審査分の特別審査委員会取扱状況
- 11 令和2年度第6期（9月）分の後期高齢者支援金等収納状況

○ コンピュータチェックに関する公開

(1) コンピュータチェック公開事例の更新

(2) コンピュータチェック試行的公開

コンピュータチェック公開事例の更新

令和2年度診療報酬改定に伴う変更等を反映するため、
支払基金ホームページのコンピュータチェック公開事例を更新します。

公開の状況

更新による増減数（事例数）

<凡例> 事例数：診療行為、医薬品及び特定保険医療材料とチェックの組合せ数（参考：「コンピュータチェック対象事例」等のレコード数）

区分	H30.3.20(初回公開)	H31.1.29(更新)	R 1.11.26(更新)	R 2.10.27 (更新予定)
医科	78,753	(+3,339) 82,092	(▲2,824) 79,268	(▲1,769) 77,499
歯科	3,514	(+118) 3,632	(▲335) 3,297	(+226) 3,523
調剤	1,157	(+63) 1,220	(▲107) 1,113	(+29) 1,142
最大投与量	2,745	(+74) 2,819	(▲187) 2,632	(+744) 3,376
投与日数	50	(+1) 51	(+1) 52	(▲4) 48
合計	86,219	(+3,595) 89,814	(▲3,452) 86,362	(▲774) 85,588
概要	関係者から理解が得られやすい 算定ルールを主に公開	既公開事例について、H30年度 診療報酬改定によるメンテナンス を実施 (マスターが廃止された事例について、変更区分に 廃止を設定)	H30年度診療報酬改定等による 新規事例の追加及び前回更新時 に廃止した事例の削除	R 2年度診療報酬改定等による メンテナンス及び前回更新時 に廃止した事例の削除

※ カッコ内は、前回からの増減数

○ コンピュータチェックに関する公開

(1) コンピュータチェック公開事例の更新

(2) コンピュータチェックに関する試行的公開

コンピュータチェックに関する試行的公開

公開基準において慎重に検討することとしている医学（薬学）的判断を要する事例について、一部の事例を試行的に公開することとします。

また、部分的に公開する一部の医薬品とその適応等を保険医療機関等のコンピュータに容易に取り込めるよう、新たなファイル形式を追加し、試行的に公開します。

今後、影響調査として、関係団体へのヒアリングやアンケート調査を実施し、公開に係る課題を整理します。

試行的公開事例数

チェック種別	チェック区分	チェック内容	現行の公開 (R2.10更新)	試行的公開		
				医科	歯科	
	合計		85,588	4,549	56	
コンピュータチェック	医薬品チェック	効能・効果	傷病名と医薬品の適応		15	1
		用量	投与量、外れ値	3,376	15	
		日数	投与日数（漫然投与）	48	15	
	診療行為チェック	適応	傷病名と診療行為の適応		30	11
	歯式関連 適応・歯数チェック	適応+歯数	傷病名歯数と不一致			1
	調剤チェック	算定ルール	調剤料の重複事例	5		
本部 点検条件	算定ルール	告示・通知等に基づく事例	82,159			
	算定ルール （医学的判断）	告示・通知等に基づく事例 ・医学的判断を伴うもの		740	43	
	算定ルール （審査の一般的な取扱い等）	告示・通知等に基づく事例 ・医学的判断を伴うもの		15		
	その他 （外れ値等）	入力誤りと考えられる 回数等		3,719		

【参考】コンピュータチェックに関する公開基準

○ コンピュータチェック公開に関する基本的考え方

支払基金では、審査業務の効率化と質の向上を図るために、診療報酬点数表等に定められた算定ルール等をコンピュータに反映し、保険医療機関（医科・歯科）及び保険薬局（以下「保険医療機関等」という。）から請求されたレセプトの診療内容に疑義が生じた項目等についてチェック（コンピュータチェック）を実施している。今般、審査の透明性の更なる向上に努めること、また、保険医療機関等からの適正なレセプトの提出や、保険医療機関等あるいは保険者における事務処理及び支払基金における審査業務の効率化につなげることを目的として、コンピュータチェックを公開する。ただし、コンピュータチェックは、診療内容の適否について、画一的あるいは一律的に適用するものではない。

1 公開の内容（公開事例）

コンピュータチェックを公開する。ただし、次の(1)から(5)までの条件に該当する事例については、保険医療機関等の請求に問題が生じないように慎重に検討する。

(1) レセプトの摘要欄の記載事項について確認を要するもの

例:診療行為又は調剤行為の必要理由の摘要欄への記載等、コンピュータでチェックできない摘要欄記載事項の確認等

(2) コンピュータチェック後、更に診療行為等から医学（薬学）的に判断を要するもの

例:診療行為の算定可否に係る前提条件（「同時」、「一連」、「短期間」等）の判断等

(3) 診療行為又は医薬品の適応に関するもの

例:医薬品の効能・効果に対する適応傷病名の判断等

(4) 医薬品の用法・用量に関するもの

例:症状等により用法・用量（「適宜増減」、「投与期間」等）の医学（薬学）的な判断等

(5) その他

例:医薬品に関する禁忌使用、上記(1)から(4)までの組合せ等

2 公開の方法

事前に関係団体へ説明を行い、了解を得た上で、順次支払基金ホームページにて公開する。

3 公開後の検証

公開後は、請求状況や審査結果の影響等について検証する。

4 公開事例の更新

次の(1)から(5)までにより、診療報酬等の取扱いが変更となった場合は、適宜公開事例の変更等を行う。

(1) 診療報酬改定

(2) 診療報酬算定告示、留意事項通知等の取扱いに係る厚生労働省保険局医療課からの事務連絡（疑義解釈）

(3) 審査情報提供事例又は支払基金が公表している「審査の一般的な取扱い」の見直し等

(4) 医学（薬学）的見解の見直し等

(5) 公開後の検証結果、各関係団体からの意見等による見直し等

【参考】 支払基金ホームページ（イメージ） 1/5

コンピュータチェックに関する試行的公開

コンピュータチェックに関する試行的公開について

支払基金では、平成30年3月に「コンピュータチェックに関する公開基準」（以下「公開基準」という。）を策定し、診療報酬点数表等に定められた算定ルール等に関するコンピュータチェックを公開（以下「公開事例」という。）しています。

また、診療報酬改定等により取扱いが変更となった公開事例等に対応するため、平成31年1月以降、適宜公開事例を更新しています。

一方、診療行為及び医薬品の適応等に関する事例、又はコンピュータチェック後、更に診療行為等から医学（薬学）的に判断を要する事例の公開については、保険医療機関（医科・歯科）及び保険薬局や保険者等の関係団体に混乱や負担が生じないよう慎重に検討しているところです。

この度、**公開事例の拡大に向けて、関係団体に混乱や負担が生じないか等の課題を整理するため、支払基金において設定している一部の医薬品（適応、用法・用量）等を部分的に公開いたします。**

また、公開後の検証結果により、保険医療機関等のコンピュータに容易に取り込めるか等の課題を整理するため、**部分的に公開する一部の医薬品とその適応等を容易に取り込めるよう、新たな公開ファイルを試行的に公開いたします。**

なお、コンピュータチェック対象事例の診療内容の適否については、画一的あるいは一律的に適用するものではなく、個別の症例ごとに審査委員会の医学（薬学）的判断により決定されます。

コンピュータチェックに関する公開の公開基準（平成30年3月20日公表）

○ コンピュータチェック公開に関する基本的考え方

支払基金では、審査業務の効率化と質の向上を図るために、診療報酬点数表等に定められた算定ルール等をコンピュータに反映し、保険医療機関（医科・歯科）及び保険薬局（以下「保険医療機関等」という。）から請求されたレセプトの診療内容に疑義が生じた項目等についてチェック（コンピュータチェック）を実施している。

今後、審査の透明性の更なる向上に努めること、また、保険医療機関等からの適正なレセプトの提出や、保険医療機関等あるいは保険者における事務処理及び支払基金における審査業務の効率化につなげることを目的として、コンピュータチェックを公開する。ただし、コンピュータチェックは、診療内容の適否について、画一的あるいは一律的に適用するものではない。

- 公開の内容（公開事例）

コンピュータチェックを公開する。ただし、次の(1)から(5)までの条件に該当する事例については、保険医療機関等の請求に問題が生じないよう慎重に検討する。

 - レセプトの摘要欄の記載事項について確認を要するもの

例:診療行為又は調剤行為の必要理由の摘要欄への記載等、コンピュータでチェックできない摘要欄記載事項の確認等
 - コンピュータチェック後、更に診療行為等から医学（薬学）的に判断を要するもの

例:診療行為の算定可否に係る前提条件（「同時」、「一連」、「短期間」等）の判断等
 - 診療行為又は医薬品の適応に関するもの

例:医薬品の機能・効果に対する適応傷病名の判断等
 - 医薬品の用法・用量に関するもの

例:症状等により用法・用量（「適宜増減」、「投与期間」等）の医学（薬学）的な判断等
 - その他

例:医薬品に関する禁忌使用、上記(1)から(4)までの組合せ等
- 公開の方法

事前に関係団体へ説明を行い、了解を得た上で、順次支払基金ホームページにて公開する。
- 公開後の検証

公開後は、請求状況や審査結果の影響等について検証する。
- 公開事例の更新

次の(1)から(5)までにより、診療報酬等の取扱いが変更となった場合は、適宜公開事例の変更等を行う。

 - 診療報酬改定
 - 診療報酬算定告示、留意事項通知等の取扱いに係る厚生労働省保険局医療課からの事務連絡（疑義解釈）
 - 審査情報提供事例又は支払基金が公表している「審査の一般的な取扱い」の見直し等
 - 医学（薬学）的見解の見直し等
 - 公開後の検証結果、各関係団体からの意見等による見直し等

→ 「コンピュータチェックに関する試行的公開の内容及びコンピュータチェック対象事例（試行的公開版）」をご覧になる方は、クリックして、次にお進みください。

このページの上へ戻る

クリックすると次画面へ

【参考】支払基金ホームページ（イメージ） 2/5

コンピュータチェックに関する試行的公開の内容及びコンピュータチェック対象事例（試行的公開版）

- ↓ [コンピュータチェックに関する試行的公開の内容](#)
- ↓ [1 目的](#)
- ↓ [2 試行的公開の内容（試行的公開事例）](#)
- ↓ [3 実施内容](#)
- ↓ [コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）](#)
- ↓ [コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）の活用イメージ図](#)

コンピュータチェックに関する試行的公開の内容

コンピュータチェック対象事例の診療内容の適否については、画一的あるいは一律的に適用するのではなく、個別の症例ごとに審査委員会の医学（薬学）的判断により決定されます。

1 目的

公開事例の拡大に向けて、関係団体に混乱や負担が生じないか、新たに作成した公開ファイルが保険医療機関等のコンピュータに容易に取り込めるか等、課題を整理することを目的に試行実施いたします。

ページ
スクロール

次画面へ続く

【参考】支払基金ホームページ（イメージ） 3/5

2 試行的公開の内容（試行的公開事例）

公開基準において慎重に検討するとしている傷病名と医薬品及び診療行為の適応や医薬品の用法・用量等の医学的判断を要する以下事例の一部を対象事例とする。

※ 診療報酬改定により取扱いが変更、添付文書の変更、関係団体からの意見等により、事前の予告なく事例を変更する場合があります。

- ・ コンピュータチェック後、更に診療行為等から医学的に判断を要する事例
- ・ 診療行為又は医薬品の適応に関する事例
- ・ 医薬品の用法・用量に関する事例
- ・ その他事例（例：数量や回数を入力誤りと考えられる事例等）

3 実施内容

試行開始日

2020年10月27日

試行実施期間

2020年10月～

※ 影響調査結果を適宜集計し、公開事例の拡大の可否等を判断した時点で終了することとします。

影響調査方法

関係団体へのヒアリング、アンケート調査（予定） 等

ページ
スクロール

次画面へ続く

【参考】支払基金ホームページ（イメージ） 4/5

コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）

コンピュータチェック対象事例の診療内容の適否については、画一的あるいは一律的に適用するものではなく、個別の症例ごとに審査委員会の医学（薬学）的判断により決定されます。

【コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）の構成等】

部分的に公開する一部の医薬品とその適応等について、機械可読が容易となる「マスタファイル」を作成。（ファイルの構造）

コンピュータチェック対象事例ファイル+マスタファイル（3つのファイル）

※ファイル形式：CSV形式

項番	名称	内容
1	コンピュータチェック対象事例ファイル	医科（DPC）、歯科、調剤、医薬品及び特定保険医療材料に係るコンピュータチェック対象事例を1つのファイルに記録する。
2	医薬品適応関連マスタファイル	医薬品の適応となる傷病名、投与量および投与日数の上限値を表す。
3	医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為の適応となる傷病名を表す。
4	歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	歯科診療行為の適応となる傷病名を表す。

コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）については、以下からダウンロードできます。

試行的公開日	コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）	事例数	お知らせ
2020年10月 日 NEW	コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）（ZIP:1.141KB）		試行的公開内容(PDF:93KB)

[このページのトップへ戻る](#)

コンピュータチェック対象事例ファイル仕様書【試行的公開版】

試行的公開日	コンピュータチェック対象事例ファイル仕様書【試行的公開版】	お知らせ
2020年10月 日 NEW	コンピュータチェック対象事例ファイル仕様書【試行的公開版】（PDF:221KB）	

ページ
スクロール

次画面へ続く

【参考】 支払基金ホームページ（イメージ） 5/5

コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）の活用イメージ図

